

教科名	保健体育	校種	高等学校
-----	-------------	----	-------------

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など, 授業の形態
1年	体育	必修	2	
2年	体育	必修	2	
3年	体育	必修	3	
	保健	必修	2	

科目名 (教科名)	体育 (保健体育科)				
担当教員	平岩 輝史 前山 孝一				
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 運動に親しむ能力を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力を育成する
2. 運動神経、能力、興味、関心等の多様化の現状を踏まえ、スポーツの楽しさや喜びを味わうことができるように多くの種目を体験する
3. 体力の向上を重視し、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身につける

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	オリエンテーション からだづくり運動 スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の進め方についての説明 ・各運動の基本的な準備運動の理解をすすめる ・体力、運動能力の確認を行う
	球技 (ゴール型) バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で習得した基本的技能の応用を身につけ、ゲームのなかでの役割を確認する
2学期	球技 (ネット型) 硬式テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスの基本動作を確認し、個々の技能技術を高める ・ダブルスゲームにおける各自の役割を認識する
	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で習得した基本技能の応用を身につけ、ゲームの中での役割を確認する
3学期	持久走	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季における体力不足を、持久走を行うことにより補う
	球技 (ネット型) バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を身につけ、状況に応じて対応し、安定した用具の操作がおこなえるようにする

評価の 観点	【関心・意欲・態度】	運動の楽しさや、達成感を味わうことができるよう、積極的に取り組もうとする
	【思考・判断・表現】	生涯にわたって運動に親しむことを目指して、学習課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持・増進のために運動の組み合わせを工夫している
	【技能】	基礎的な技術を身につけ、実践的な場で活用することができる
	【知識・理解】	生涯にわたって運動に親しむための理論について理解している

評価の 方法と 割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 実技テスト+出席点 (平常点を含む) で各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 実技テストは全体の70% 出席点は全体の30%で換算。詳細は、以下のとおり。 欠席 - 3点 遅刻早退 - 1点 見学 - 2点で算出。 ただし、見学は、『体育授業見学報告書』の内容が良い場合は - 1点となる。
------------------	--

教科書・ 副教材等	● 副教材 : Active Sports 2019 (総合版)
--------------	----------------------------------

科目名 (教科名)	体育 (保健体育科)				
担当教員	木村 友美 前山 孝一				
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 運動に親しむ能力を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力を育成する
2. 運動神経、能力、興味、関心等の多様化の現状を踏まえ、スポーツの楽しさや喜びを味わうことができるように多くの種目を体験する
3. 体力の向上を重視し、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身につける

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	オリエンテーション からだづくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の進め方について説明 ・技を習得し、互いに協力したり補助したりして、安全に留意して練習や発表ができるようにする ・体力、運動能力の確認を行う
	スポーツテスト	
	球技 (ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールの基本動作と簡易ゲームができるまでの技術習得を目指す
2学期	球技 (ネット型) バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で習得した基本技能を発揮し、ゲームの中で、より実践的に各ポジションの役割を確認する
	球技 (ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールの基本動作と簡易ゲームができるまでの技術習得を目指す
3学期	球技 (ネット型) バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で習得した基本技能を発揮し、ゲームの中で、より実践的に各ポジションの役割を確認する
	持久走 球技 (ゴール型) サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力および精神力を鍛える ・ボールに対するフィーリングを身につけ、パス、ドリブルなどの個人技能の向上をはかる ・簡易ゲームができるように、班別技術の習得を目指す
評価の観点	【関心・意欲・態度】	実践的な理論の上に立ち、合理的な運動に取り組もうとする
	【思考・判断・表現】	生涯にわたって運動に親しむことを目指して、学習課題に応じた運動の取り組み方や体力を高めるための運動の組み合わせ方を工夫している
	【技能】	基本的な技能の上に、さらに応用できるような能力を身につける
	【知識・理解】	個人生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 実技テスト+出席点 (平常点を含む) で各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 実技テストは全体の70% 出席点は全体の30%で換算。詳細は、以下のとおり。 欠席 - 3点 遅刻早退 - 1点 見学 - 2点で算出。 ただし、見学は、『体育授業見学報告書』の内容が良い場合は - 1点となる。 	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 副教材 : Active Sports 2018 (総合版) 	

科目名 (教科名)	体育 (保健体育科)				
担当教員	木村 友美 平岩 輝史 前山 孝一 尾越 晶子 土弘 健太 ※ 選択科目により担当が変わる				
学年	3	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 運動に親しむ能力を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力を育成する
2. 運動神経、能力、興味、関心等の多様化の現状を踏まえ、スポーツの楽しさや喜びを味わうことができるように多くの種目を体験する
3. 体力の向上を重視し、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身につける

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	オリエンテーション 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の授業の進め方についての説明 ・ 技を習得し、互いに協力したり補助したりして、安全に留意して練習や発表ができるようにする ・ 体力、運動能力の確認を行う ・ ステップやコンビネーションの習得と、テーマやイメージに沿った動きを身体で表現できるようにする
	スポーツテスト ダンス	
2学期	球技 ・ ネット型 ・ ベースボール型 ・ ゴール型	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループに分かれてリーグ戦を行う
	ダンス 球技 ・ ネット型 ・ ベースボール型 ・ ゴール型	
3学期		
評価の観点	【関心・意欲・態度】	個人生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする
	【思考・判断・表現】	健康や安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している
	【技能】	今まで習得してきた技能を活用し、様々な場面で実践している
	【知識・理解】	運動の合理的な実践に関する具体的な事項及び、生涯にわたって運動に親しむための理論について理解している
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 実技テスト+出席点(平常点を含む)で各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 実技テストは全体の70% 出席点は全体の30%で換算。詳細は、以下のとおり。 欠席 - 3点 遅刻早退 - 1点 見学 - 2点で算出。 ただし、見学は、『体育授業見学報告書』の内容が良い場合は -1点となる。 	
教科書・副教材等	● 副教材 : Active Sports 2017 (総合版)	

科目名 (教科名)	保健 (保健体育科)				
担当教員	木村 友美 平岩 輝史 堀 浩子				
学年	3	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 個人及び社会生活における健康・安全について考え、理解し、健康の保持・増進に務める
2. 生涯の各段階についての課題や、わが国の保健・医療制度や機関を適切に活用できるようにする

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	第1章 現代社会と健康 第1節 健康の考え方	①健康の考え方と私たちの課題 ②わが国の健康水準と病気の傾向 ③健康に関する環境づくり
	第2節 健康の増進と病気の予防	①生活習慣病の予防 ②食事と健康 ③運動と健康 ④休養と健康 ⑤喫煙と健康 ⑥飲酒と健康 ⑦薬物乱用と健康 ⑧感染症の予防 ⑨性感染症とその予防 ⑩がんの予防
2 学期	第5節 応急手当	①応急手当の理解 ②心肺蘇生法の実践 ③日常的な応急手当
	第2章 生涯を通じての健康 第1節 生涯の各段階における健康	①人生の各段階の健康 ②思春期の心の成長 ③思春期のからだの成長 ④結婚生活と健康 ⑤新しい生命の誕生 ⑥幸せで健康な家庭づくり ⑦一生を通じての健康 ⑧豊かな高齢社会の実現
3 学期		
評価の 観点	【関心・意欲・態度】	積極的に日常生活に反映できるよう前向きに取り組む
	【思考・判断・表現】	展開内容を具体的な場面で正確に実行できるようにする
	【技能】	今後のライフステージの上で自分にあった能力を身につける
	【知識・理解】	的確な判断と正確な知識を習得し、積極的に実行できるようにする
評価の 方法と 割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 実技テスト+出席点 (平常点を含む) で各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 実技テストは全体の70% 出席点は全体の30%で換算。詳細は、以下のとおり。 欠席 - 3点 遅刻早退 - 1点 見学 - 2点で算出。 ただし、見学は、『体育授業見学報告書』の内容が良い場合は - 1点となる。 	
教科書・ 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 高等学校改訂版 保健体育 (第一学習社) 	